

今回は整備性の向上を目的に MINI1000 の結合された IN/EX マニフォールドを 1.3I 用の EX マニフォールドを使用してセパレート化及び EX システムを全てフランジ化しました。1000 の給排気マニフォールドは結合されており、EX パイプとの繋ぎ目はクランプで留めてある為に整備性も悪く古くなった触媒等は詰り等も有ります。交換することで 1.3I 用の触媒が使用可能になり、リヤマフラーの選択では自由度が増すのではないのでしょうか。



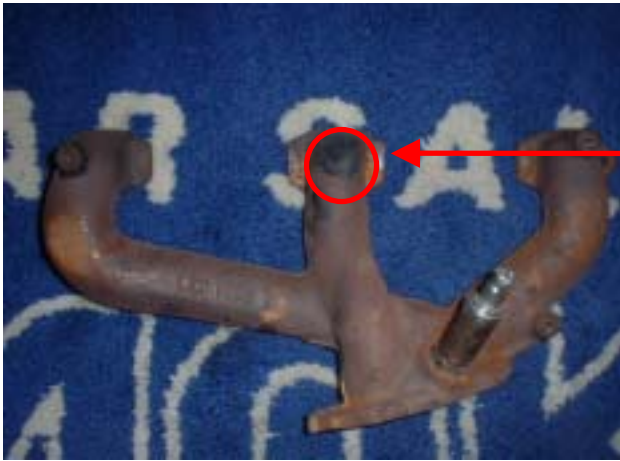
加工前の状態です。一体整形のマニフォールドは IN マニを暖め気化を促進する役割も有るのかも知れませんがかなり高温になります。

この部分を切断して IN マニのみ使用します。真ん中の EX 管も完全に取り除いてしまわないと、後から取り付ける EX マニに干渉してしまいます。

切断～仕上げをした状態です。切断面と 1.3I 用 EX マニとのクリアランスをチェックしながら加工していきます。切断面部分の肉厚が薄くなるため内側から溶接盛をした後ポート内を仕上げます。



左が完成した IN マニです



装着する EX マニです。中央排気管と IN マニのクリアランスを確保するために若干削ります。

遮熱板も取り付けますが不要な部分をカットしてしまいましょう。ブッシュ交換時等作業が楽になります。



1000 エンジンはリフターカバーにブローパイ用の煙突が出ていますが、1.3I 代の EX マニを取り付ける場合あたってしまうために切断して、邪魔にならない位置にブローパイホース用の取り出し口を取り付けます。今回は切断面に溶接加工しました。



EX マニフィッティング



IN / EX マニフィティング



完成。